

市内小中学校の適正規模・適正配置の説明会（第1回）

6月24日（水）午後6時～午後7時15分 小野上公民館

No.	いただいた意見等の概要	市の考え方
1	・保護者の話を聞いていただいた方がよい。保護者への周知はしていますか。 ・各地区にチラシの配布をする予定はありますか。	今回の説明会は、広報しぶかわや市のホームページ、市の公式SNSのほか、児童生徒の保護者向けのメール（すぐーる）、未就学児の保護者向けのチラシ配布で周知しています。 開催曜日や時間によって参加がかなわない方もいることが想定されるため、第2回目以降の開催については、土曜日や日曜日の開催も検討します。 地区への周知については、毎戸配布や回覧板が想定されますが、全庁的に自治会の負担軽減として配布物を削減していることもありますので、毎戸配布している広報での周知となることを、ご理解ください。
2	適正規模・適正配置は、人口で考えて配置を考えるのでしょうか。中央に集める形になるのでしょうか。	適正規模だけを考えた場合、人口の多いところに集める話ができるかもしれませんが、適正配置の基準となる、通学時間（小学校・概ね40分以内、中学校・概ね60分以内）を考慮した場合、単純に人口の多いところに集めるという考え方にはしません。
3	・適正規模・適正配置を進める上で、既存の施設を改修して使用するか、新築するかによって意見が変わると思います。 ・施設改修などの予定はありますか。	学校施設の老朽化に対して、市内全ての施設を維持することは、財政的にも難しい話であり、適正規模・適正配置を進めなければいけない要因です。 現状では、どの施設をいつ改修するか等は決定していませんが、今後の説明会でお示しする再配置の素案は、施設改修のスケジュールも含めた内容にしたいと考えています。
4	・2回目の説明会で示す予定の適正配置案は、いつからいつまでの期間を想定したものになりますか。 ・期間中に複数回統廃合を行う学校が出るのでしょうか。 ・2050年以降に、更に学校が減って、ひとつになるなんてことも考えられるのではないのでしょうか。	人口の推計が確認できる2050年までを対象期間としてお示しする予定であり、特定の学校で統廃合を繰り返すことは好ましくないと考えています。 しかし、今後の意見交換等の中で、学校によっては、今すぐにも統合が必要との話になることも想定されます。その場合は、統合の動きが複数回（さみだれ式）になることも考えられます。 推計値のない2050年以降のことは申し上げられません。 今年度は、学校の適正規模・適正配置の基本計画を策定しますが、来年度はその計画に基づいて各地域で協議いただくことを想定しています。その協議の中で、早期統合等の意見が出る可能性はあると思います。
5	廃校の活用について、検討していることはありますか。	統廃合する学校が決まっていないので、具体的な話は出ていません。対象校が決まれば、活用方法の検討も進むことになると思います。 老朽化している施設を活用するのは難しい部分もありますが、防災の拠点や住民が集まる場所としての活用など、施設の状況を確認しながら検討することになります。
6	2回目、3回目の説明会はどのような内容になりますか。	2回目は、「方針に基づく適正配置案の説明と意見交換」。3回目は、「2回目の意見を踏まえた修正案の説明と意見交換」を予定しており、どなたでも参加いただけます。
7	学校がなくなる地域をどのように守っていくか考えがありますか。	学校の存続に関わらず、市内全域で、子どもたちが将来にわたって望ましい環境で学び続けられるように、適正規模・適正配置に取り組むことになります。廃校は、施設の状況により、その後の活用を検討することになります。
8	小野上中学校が閉校してから活用されていない現状があります。	旧小野上中学校は、市の洪水ハザードマップにより、浸水想定区域に指定されています。そのため、外部的な利用を制限している状況にあり現在に至ります。

市内小中学校の適正規模・適正配置の説明会（第1回）

6月24日（水）午後6時～午後7時15分 小野上公民館

No.	いただいた意見等の概要	市の考え方
9	・閉校が決まってからお知らせが来るようなことは避けてもらいたい。アンケートなどで地域の意見を聞いてもらいたい。 ・アンケートは、保護者・子ども・地域の人とありますが、内容など決まっていることがあれば教えてください。 ・令和5年度に行った子ども・保護者向けアンケートの結果は公表していますか。公表しないと次につながらないと思います。	説明会等の参加者向けのアンケートのほか、市民意見公募も予定しています。そのほかのアンケートは可能な範囲で検討します。 令和5年度には、子ども・保護者向けアンケートを実施し、その結果は、学校の適正規模・適正配置を検討するに当たり、庁内検討委員会において、教育部の考えを整理する際に活用しました。子ども・保護者向けアンケートは、公表する前提で実施したものではないため公表していませんが、今回の説明会でのご意見等は市ホームページにて、説明会に参加していない方にも確認いただけるようにしています。
10	・小野上地区に人を増やすような施策はありますか。 ・小規模特認校とはどういう制度ですか。	通学区域外の児童でも、申請すれば市内どこからでも入学等が可能な学校として、小野上小学校と伊香保小学校を「小規模特認校」に指定しています。 前回の学校統廃合を進めていたときは、規模の小さい学校同士の統合を検討していました。伊香保地区と小野上地区は、その話が進まなかったこともあり、小規模特認校制度を活用することになったものです。規模が小さい学校に他地区からの入学等を認めることで、ある程度の人数を確保する目的がありますが、制度の利用は多くありません。
11	・通学の面で小規模特認校に通わせるハードルが高いと思います。 ・スクールバスの利用基準はどのようなものですか。 ・自転車通学との併用ができない話も聞いています。	スクールバスについては、合併当時10路線ありました。現在は18路線です。合併前は、旧市町村で支援の基準が異なっていたものを、通学距離が2.5km以上の児童生徒を対象にするよう整理しました。 特段の理由がある場合は、個別に相談を受け、利用を認める場合があります。 また、スクールバスの利用人数を調整し契約事務を進める必要があり、特定の日だけスクールバスを利用するという（自転車通学との併用）を認めることができないものです。
12	・2.5km以上であれば、小規模特認校に通うためにスクールバスを利用できるのでしょうか。	小規模特認校の制度には、「保護者の責任において通わせる」という条件があるため、保護者による送迎を考えていただくことになります。 また、スクールバスの路線や停留所は、条例や規則で定めているため、小規模特認校のためにスクールバスを走らせることは、今の時点ではできません。 ただし、公共交通による通学である場合、遠距離通学補助として、全額を補助する制度があります。
13	・学童保育がないため小野上地区から離れていく家庭があります。 ・他の地域の学校に通うことを認めれば、地域の衰退につながると思います。各家庭の状況の確認もしっかりしてもらいたいです。	地域に学童がない要因は、児童生徒数の状況から、学童の経営が難しいためと伺っています。 昨年度から、学童がない地域の子どもが、他地域の学童を利用する場合に市が送迎費用の助成をする制度も始まりました。 家庭の事情により、他地域の学校への通学を認めているケースはあります。それぞれの家庭の事情を聞き取りの上、実施している事業となりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

市内小中学校の適正規模・適正配置の説明会（第1回）

6月24日（水）午後6時～午後7時15分 小野上公民館

No.	いただいた意見等の概要	市の考え方
14	・今回の説明会で、関連する市の他の施策についても説明があると思っていました。学校の統合を前提とした説明会のように感じました。 ・小野上小を統合するのではなく、建物の築年数で小野上小よりも古い学校から小野上小へ連れてくる案はどうでしょうか。	今回の説明会は、学校の適正規模・適正配置に関してご説明させていただくために開催したものです。学校の統合は、子どもたちが将来にわたって望ましい環境で教育を受けられるようにするための手段のひとつと考えています。 また、統合後の学校施設について、増加する児童生徒数に対応できるか等も検討材料になります。 2回目以降の説明会では、適正規模・適正配置の素案をお示しすることを予定しておりますので、改めてご意見を伺わせていただきたいと思います。 なお、「渋川市立小中学校適正規模・適正配置基本計画」を検討するに当たっては、市の他の計画等の内容を勘案し、市全体として整合を図ることとしています。
15	12月頃に予定している市民意見公募について、より多くの市民意見を得られるよう、周知方法を検討してください。	広く皆さんに情報を知っていただけるよう、周知方法を検討し、より多くの方からのご意見を得られるよう取り組みます。
16	若い世代、保護者の参加が少ないため、より参加しやすい工夫が必要だと思います（オンラインや動画の視聴など）。説明会に参加するに当たり、来場することのハードルが高いと思います。	説明会やアンケートでの質疑の内容などは、市ホームページに適時公開する形で皆さんに情報をお示ししたいと考えています。
17	2050年、生きているか、渋川にいるかわかりませんが、そのくらい先の未来を見据えて動いていくことは大切なことだと思います。	—
18	とにかく、行政レベル、教育委員会レベルより上位の場で、小野上地区の意見を吸い上げてほしいです。	説明会等の参加者向けのアンケートのほか、市民意見公募も予定しています。そのほかのアンケートは可能な範囲で検討します。
19	渋川は、コンパクトシティ化を進めているが、現在進めている方向は、はたして良いのだろうか。常に疑問を持って考える必要がある。それと平行して小中学校のあり方も考えていく必要があるだろう。小野上、伊香保の地区では、小学校は残す方向が地域住民の意識を下げないためには重要であると思う。	—
20	学校の統合よりも地域の活性を優先にした方が良いと思います。	—
21	小野上地区全てにアンケートをお願いします。	説明会等の参加者向けのアンケートのほか、市民意見公募も予定しています。そのほかのアンケートは可能な範囲で検討します。